

(第1面)

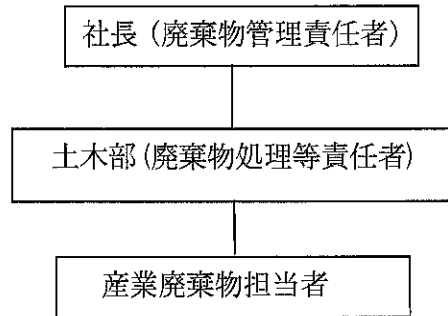
産業廃棄物処理計画書	
令和8年6月12日	
都道府県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県久慈市長内町24-162 氏 名 下館建設株式会社 代表取締役 下館康見 電話番号 0194-52-1717	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	下館建設株式会社
事業場の所在地	久慈市長内町24-162
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	完成工事高 20億
③ 従業員数	116名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンガラ、アスガラ類→廃棄物運搬→委託処分 木くず、金属くず、紙くず類→廃棄物運搬→委託処分 石綿含有廃棄物(石綿管)、ガラス・陶磁器くず→廃棄物運搬→委託処分 混合、廃プラ、廃石膏ボード、その他がれき→廃棄物運搬→委託処分

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和7年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生現場での分別に努めている。 中間処理業者と産業廃棄物の処分に関して契約を交わしている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状行っている発生現場での分別を徹底して行っていく。

(第2面 別紙1)

産業廃棄物の排出に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ
	排 出 量	1050.62 t	481.34 t
	(これまでに実施した取組) ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ
	排 出 量	1000 t	300 t
	(今後実施する予定の取組) ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンガラ（有筋）	木くず
	排 出 量	10.34 t	92.89 t
	(これまでに実施した取組) ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンガラ（有筋）	木くず
	排 出 量	5 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

(第2面 別紙2)

産業廃棄物の排出に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ
	排 出 量	1.5 t	7.15 t
	(これまでに実施した取組)		
	○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラ
	排 出 量	1 t	7 t
	(今後実施する予定の取組)		
	○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ（鉛含有）	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	0.41 t	12.76 t
	(これまでに実施した取組)		
	○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ（鉛含有）	ガラス陶磁器くず
	排 出 量	0 t	10 t
	(今後実施する予定の取組)		
	○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

(第2面 別紙3)

産業廃棄物の排出に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和7年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	石綿含有建材
	排 出 量	3.26 t	1.96 t
	(これまでに実施した取組)		
	○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	石綿含有建材
	排 出 量	2 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)		
	○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
① 現状	【前年度 (令和7年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ボード	その他がれき類
	排 出 量	16.43 t	27.23 t
	(これまでに実施した取組)		
	○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃ボード	その他がれき類
	排 出 量	15 t	25 t
	(今後実施する予定の取組)		
	○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

(第2面 別紙4)

産業廃棄物の排出に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	混合廃棄物
	排 出 量	4.27 t	4.52 t
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	混合廃棄物
	排 出 量	3 t	4 t
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	
	排 出 量	0.46 t	
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	
	排 出 量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和7年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和7年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら中間処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和7年度 ） 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分をする予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和7年度 ） 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	1715.14 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利 用を行なっている中間処理業者に委託している。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1453 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ
	全処理委託料	1050.62 t	481.34 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ
	全処理委託料	1000 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

(第4.5面 別紙2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンガラ（有筋）	木くず
	全処理委託料	10.34 t	92.89 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
	②計画	【目標】 別紙のとおり	
産業廃棄物の種類		コンガラ（有筋）	木くず
全処理委託料		5 t	80 t
優良認定処理業者への処理委託量			
再生利用業者への処理委託量			
認定熱回収業者への処理委託量			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。			
※事後処理欄			

(第4.5面 別紙3)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず [※]	廃プラ
	全処理委託料	1.5 t	7.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組) ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
③ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	金属くず [※]	廃プラ
	全処理委託料	1 t	7 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ（鉛含有）	ガラス陶磁器くず
	全処理委託料	0.41 t	12.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
④ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	廃プラ（鉛含有）	ガラス陶磁器くず
	全処理委託料	0 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	石綿含有建材
	全処理委託料	3.26 t	1.96 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組) ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
⑤ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	紙くず	石綿含有建材
	全処理委託料	2 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃ボード	その他がれき類
	全処理委託料	16.43 t	27.23 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再利用を行っている中間処理業者に委託している。		
⑥ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	廃ボード	その他がれき類
	全処理委託料	15 t	25 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	混合廃棄物
	全処理委託料	4.27 t	4.52 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○廃ブ分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
⑦ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	混合廃棄物
	全処理委託料	3 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	
	全処理委託料	0.46 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（これまでに実施した取組） ○廃プ分別解体による再資源化に努め、それぞれの種類において再生利用を行なっている中間処理業者に委託している。		
⑧ 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物（安定型）	
	全処理委託料	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	（今後実施する予定の取組） ○現状と同様に分別解体を徹底し再資源化を行う。		
※事後処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。